

ゼオライト土嚢等処理の進捗状況について

2026年 1月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 【背景】 処理方法の概要

- プロセス主建屋（PMB）、高温焼却炉建屋（HTI）の最下階(地下2階)における高線量化したゼオライト土囊・活性炭土囊（以下、ゼオライト土囊等）は、リスク低減のために回収を計画。回収は、水の遮へい効果が期待できる水中回収を軸に検討を進めている。
- PMB・HTIの最下階のゼオライト土囊等は回収作業を“集積作業”と“容器封入作業”の2ステップに分け、作業の効率化を図る計画。
- なお、土囊袋は劣化傾向が確認されており、袋のまま移動できないことから、中身のゼオライト等を滞留水とともにポンプで移送する方式を基本とする。

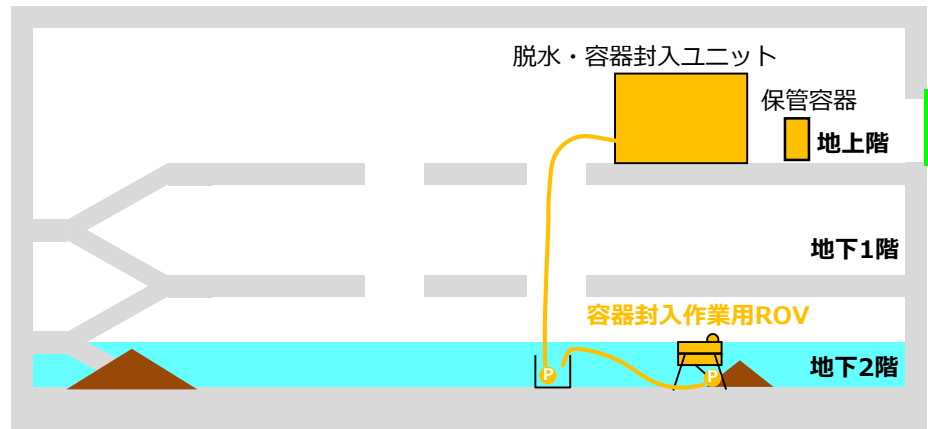
ステップ① 集積作業

- ✓ ゼオライト土囊等について、作業の効率化による工期の短縮（完了時期の前倒し）を目的に、容器封入作業の前に集積作業を計画。
- ✓ 集積作業用ROVを地下階に投入し、ゼオライトを吸引し、集積場所に移送する。
- ✓ 階段に敷設されている活性炭は、水流を用いて、遠隔で地下階に移動させる。

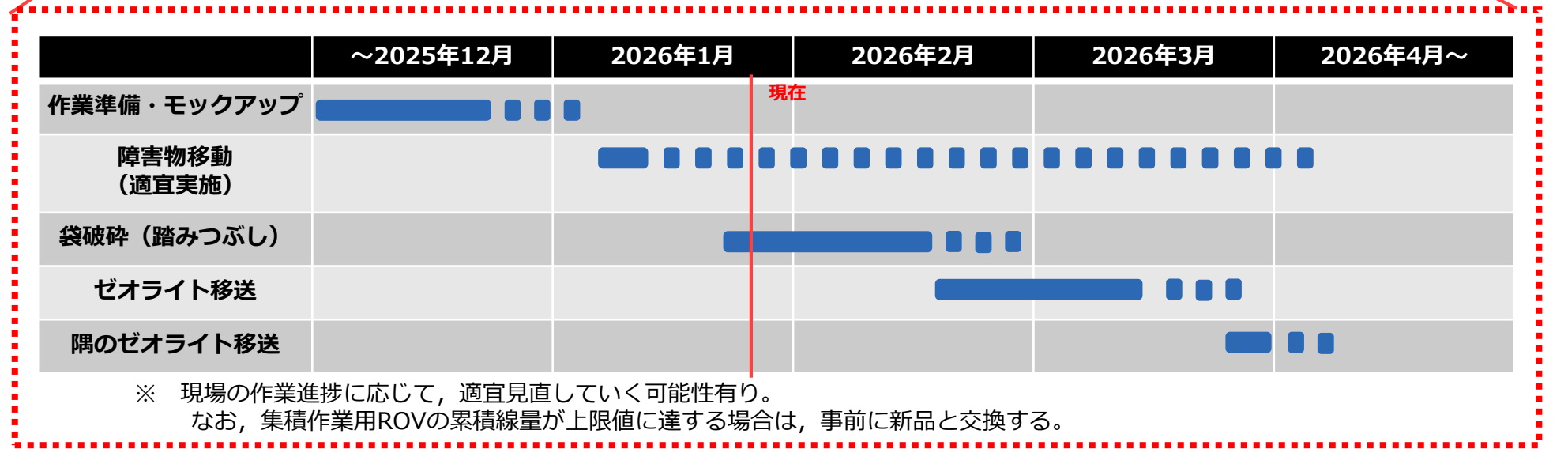


ステップ② 容器封入作業

- ✓ 集積されたゼオライト等を容器封入作業用ROVで地上階に移送し、建屋内で脱塩、脱水を行ったうえ、金属製の保管容器に封入する。その後は33.5m盤の一時保管施設まで運搬する計画。



TEPCO



3. HTI集積作業の実施状況（2026年1月の実施状況）

- ゼオライト土嚢集積作業は2025年3月よりHTIにて現場作業を開始しており、まずは試験的に3列程度の集積が完了。残りのゼオライト土嚢については、「土嚢袋の破碎（踏みつぶし）」作業を実施した後、ゼオライト集積予定箇所への「ゼオライト移送」を実施していく。

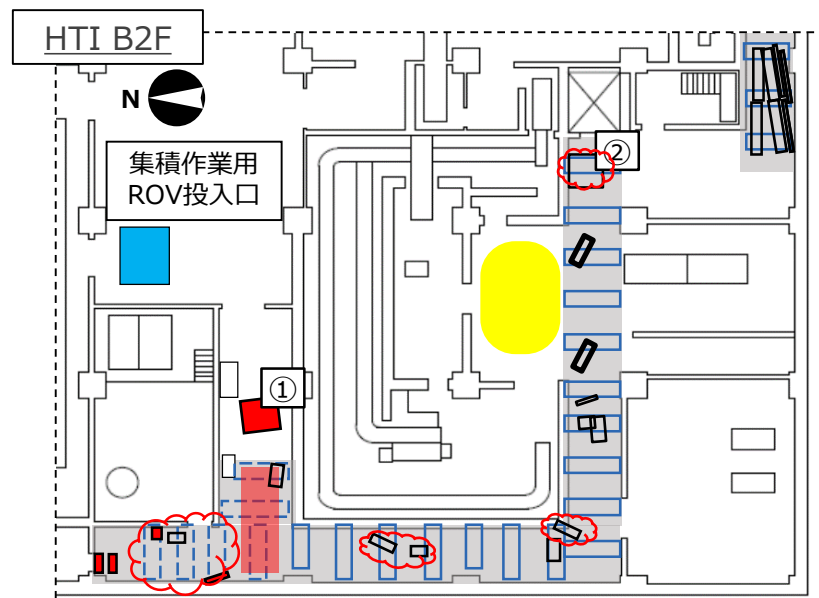
- 集積作業用ROVを地下階に投入し、土嚢袋の破碎（踏みつぶし）作業を1月28日より再開。

現在の作業進捗（2026年1月28日時点）：6※1／26列の土嚢列の破碎が完了（約23%）

- 2025年3月にHTIで現場作業を開始した際、新たな干渉物（落下した照明器具等）や確認されていた干渉物（ロッカー）の移動等も確認。新たな干渉物は20個程度の軽量の干渉物であり、これまで14個の移動を完了しているが、残りはゼオライト等に埋もれる等、容易に移動出来ない状況を確認。残りの干渉物に対しては、改めてモックアップ等を実施したうえで、集積作業を実施しながら移動していくこととしており、現在（2026年1月28日）まで+3個の軽量の干渉物の移動※2を実施。並行して、「②作業階段」の移動（吊り上げ）も実施。

※1 2025年3月の試験的作業時に実施した3列分を含む。

※2 吊り治具等を改良して移動実施。

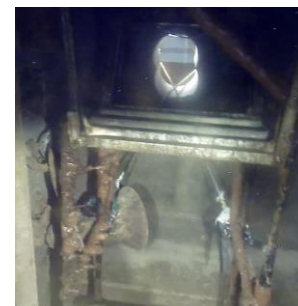


- 土嚢袋設置位置（土嚢袋の破碎（踏みつぶし）前）
- - - 土嚢袋設置位置（土嚢袋の破碎（踏みつぶし）後）
- ゼオライト集積予定箇所
- 残っている干渉物（移動した破損ロッカー、ダクト、蛍光灯カバー等）
- 集積実施済部分
- 集積対象部分（約146㎡）
- ☁ 2026年1月の作業進捗箇所（2026年1月28日時点）
- : 干渉物（移動済）



①破損したロッカー

水位の調整により
上下方向での回避



②吊り上げた作業階段（下（水面）から撮影）

上部からフックを引っ掛けて、紐で吊り上げ



参考)
同型の作業階段



土嚢袋の破碎（踏みつぶし）作業時の操作室の状況

【参考】作業の進捗度について

- ゼオライト土嚢処理の作業進捗度は、今後、下記のように進捗度を評価していく。

- 集積作業

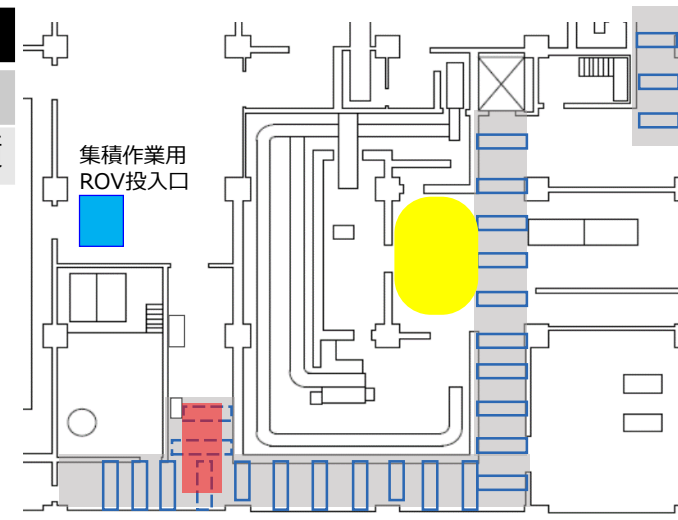
集積作業用ROVを地下階へ投入した後、大きく「①土嚢袋の破碎（踏みつぶし）」，②「ゼオライト移送（治具を取り付けた後の隅のゼオライト移送含む）」の2ステップで作業を進めて行く予定であり、それぞれの進捗度を下記のように評価していく。

作業内容	進捗度の基準※2
①土嚢袋の破碎(踏みつぶし)	実施列数/全土嚢列数(26列)
②ゼオライト移送(隅の移送含む)※1	集積実施済部分面積/集積対象部分面積

※1 土嚢袋の破碎(踏みつぶし)後は、敷設した土嚢列が広がり、隣同士が繋がる可能性があるため、設置面積（廊下の面積）とソナー等で確認した実施面積から進捗率を評価。

※2 現在まで、3列程度の集積が完了。
それぞれの進捗率は①約12%，②約10%（未実施の隅部分を差し引いて評価）

 土嚢袋設置位置 (土嚢袋の破碎(踏みつぶし)前)	 集積実施済部分(2025/12現在)
 土嚢袋設置位置 (土嚢袋の破碎(踏みつぶし)後)	 集積対象部分(約146㎡)
	 ゼオライト集積予定箇所



HTI建屋の例

- 容器封入作業

容器封入作業は集積されたゼオライト等を容器封入作業用ROVで地上階に移送し、金属製のゼオライト等保管容器へ封入する。ゼオライト等保管容器の想定基数はHTIで15基※3，PMBで20基※3であり、発生した本数を作業進捗度として評価していく。

※3 設置当時の記録・事前調査結果にスラッジ等の異物分を加味して評価した基数であり、実際に作業を進めて行く中で、基数は前後する可能性有り。